

# 生き生き・快適生活術

## (23) アルツハイマー病

■熟成ハーブ抽出液  
(AGE)のはたらきを知る

日本における認知症の原因の大部分がアルツハイマー病とされ、次いで脳血管性認知症、パーキンソン病、シニア小体型認知症と続きます。

脳血管性認知症は、脳梗塞や脳出血などの脳血管障害により生じる認知症で、脳の全体と特定部位が萎縮して起ります。対してアルツハイマー病は、大脳皮質や海馬が著しく萎縮して起ります。そのため、アルツハイマー型認知症の脳は、脳溝が広がり、隙間の大きい脳となっています。今回もアルツハイマー型認知症の原因なる物質とAGEの関係について紹介します。

Amelioration of Early Cognitive Deficits by Aged Garlic Extract in Alzheimer's Transgenic Mice. Chauhan,N.B. et al. Phytotherapy Res. 21 (7), 629-640, 2007

アルツハイマー型認知症発症は発症約25年前から脳に異変が起き始めています」とが、最近の研究から分かってきました。発症約25年前から脳内でアリロイド類が蓄積され始め、発症の約15年前からタウが出現、増加し、凝集化され始めます。それに伴い神経細胞の死滅が起ります。海馬の萎縮が進みアルツハイマー型認知

【当店おすすめ商品】  
キョーレオピンNEO・  
レオピンファイブNEO・  
レオピンロイヤル



症が発症します。アリロイド類とは、脳の「川」ともいわれ、タウとは脳の神経細胞の中で栄養などを運ぶ管を安定させるために必要なタンパク質です。空間学習記憶試験の一つで、「マウスから見えない物体」設置した水面下「逃避駆動」(マッシュフォーム)を探索する、といった試験があります。アリロイド類が蓄積したマウスを使い餌にAGE添加食したマウスと非添加マウスで比較。AGE非添加では、AGE添加に比べマウスの潜時間が明らかに短くなり、認知障害の程度が進んでいましたが、AGE添加食で飼育したマウスでは、著明にホールでの潜時間が長く、認知障害の抑制が顕著に認められ、この事からAGEはアルツハイマー病の進行を阻止する可能性が示唆されました。アリロイド類が蓄積し始める前50才前後(平均)からAGEをお試し頂ければ幸いです。

センター薬局 株式会社  
**こうじゅ舎**  
事務局

豊岡・日高・八鹿・出石病院等の病院、診療所、医院より発行の処方箋を各店舗とも受付けております。

京町センター薬局  
舟木内科 横  
TEL.0796-24-2960

九日市センター薬局  
あかまつ小児科 横  
TEL.0796-29-0096

出石センター薬局  
出石医療センター前  
TEL.0796-53-2233

豊岡 薬局  
豊岡駅通り  
TEL.0796-22-2946

つばい 薬局  
出石町町分206-2  
TEL.0796-52-5338